



シラバス参照

科目名/Subject	多文化間コミュニケーション
曜日・講時・教室/Day/Period/Place	前期 水曜日 4講時 川北キャンパスA401
科目群/Categories	全学教育科目先進科目-国際教育
単位数/Credit(s)	2
対象学部/Object	全
担当教員(所属) /Instructor (Position)	林 雅子 所属: 高度教養教育・学生支援機構
開講期/Term	1/3/5/7セメスター
科目ナンバリング /Course Numbering	ZAC-GLB806B
使用言語 /Language Used in Course	2カ国語以上
メディア授業科目 /Media Class Subjects	
主要授業科目 /Essential Subjects	各学部の履修内規または学生便覧を参照。

授業題目 /Class Subject	XR・メタバースで世界をつなぐ Connecting the World via XR and the Metaverse
授業の 目的と概要 /Object and Summary of Class	この授業の目的は3つあります。 <ul style="list-style-type: none"> ・海外学生と国内学生が「メタバース」を通して自国の文化を紹介し合い、知識・理解を深めます。 ・「XR技術」を活用してより現実感・没入感・臨場感のより高い文化紹介を目指します。 ・他国の文化と比較して自国の文化を外から捉えるとともに、他文化への関心と尊重する態度を身に着けます。 <ul style="list-style-type: none"> ・Students from overseas and students from Japan introduce their own cultures to each other through 'Metaverse'. ・Students will introduce not only aspects of their culture they want to introduce, but also aspects their classmates want to know about. ・Students will gain a perspective of their own culture from the viewpoint of other cultures, as well as an attitude of interest in and respect for other cultures.
学修の 到達目標 /Goal of Study	1) 国内外の学生との協働学習を通して自文化・異文化への理解を深める(知識・理解) 2) メタバースとVR技術を活用して自文化・異文化を紹介する(技能・技術) 3) 他国の文化や自文化に関心を持ち尊重する(態度・関心) <ul style="list-style-type: none"> 1) Deepen understanding of own and other cultures through interaction with each other 2) Give multimedia explanations of own/other cultures 3) Develop an interest in and respect for own and other cultures

<p>授業内容・方法と進捗予定 /Contents and Progress Schedule of the Class</p>	<p>【授業内容】 ・本授業の内容は「日本文化紹介」と「海外学生の国の文化紹介」です。 1)〈知識・理解〉<Knowledge / Understanding> ・海外から参加の学生と、国内参加の学生(留学生と日本人学生)が「メタバース」を通して自国の文化を紹介し合います。「日本の国外ではどのような日本文化が知られているのでしょうか?」「海外の学生が知りたい日本文化とはどのようなものなのでしょうか?」これらのテーマについて、海外の学生と国内の学生が協働で調べて発表し、ディスカッションすることで、他国の学生の視点に立って自国の文化を外から捉え直し、自文化に対する知識と理解を深めます。 さらに、他国の文化を協働で紹介し合うことで異文化への知識・理解も深めることを目指します。 2)〈技能・技術〉<Skills / Technology> ・VR(バーチャルリアリティ)やメタバースを体験したことはありますか?このクラスでは海外の学生と「メタバース(仮想空間)」で交流し、ワールドの活用を通して自国の文化を紹介します。文字だけの「モノメディア」のみならずマルチメディアを活用して、自文化・異文化を効果的に紹介する技能・技術を身につけることを目指します。 3)〈態度・関心〉<Attitude / Interest> 「自分が紹介したい文化を、相手も知りたいと思っているとは限りません」日本人が紹介したい文化は茶道、歌舞伎などがあげられます。留学生に人気があるテーマは「部活」「文化祭」などです。私たちににとっては当たり前のことですが、海外の学生や留学生が質問してくれたときに日本文化の特徴をきちんと説明できるでしょうか。海外の学生が知りたい日本文化や、紹介したい他国の文化に関心を持ち、積極的に調べて紹介することで自文化・異文化への深い理解と異文化を尊重する態度を身につけ、将来、グローバル人材として国際社会で活躍するための倫理観を養うことを目指します。</p> <p>【授業方法】 ・メタバースワールドを活用してプレゼンテーションをし、ディスカッションや意見交換をします。</p> <p>【進捗予定】 第1回 ガイダンス 第2回 グループディスカッション ・日本人学生が留学生に紹介したい日本文化とは? ・留学生が見て感じた日本文化、これから知りたい日本文化とは? 第3回 文化紹介プレゼンテーションのためのテーマ決定・グループ決定 第4回～9回 文化紹介プレゼンテーションのためのグループワーク 第10～14回 文化紹介と国内学生・留学生・海外学生の視点からの意見交換 第15回 授業の振り返りとまとめ ※スケジュールは受講者の人数に応じて変更する可能性があります。</p>
<p>成績評価方法 /Evaluation Method</p>	<p>・授業参加度と自己評価(40%), レポート(30%), 発表(30%) Participation and self-assessment (40%), reports (30%), presentations (30%)</p>
<p>教科書および参考書 /Textbook and References</p>	
<p>関連URL /URL</p>	<p>文部科学省遠隔教育ガイドラインpp.5-6、125-126 https://www.mext.go.jp/content/20230328-mxt_kouhou01-000004520_1.pdf 朝日新聞Thinkキャンパス https://www.asahi.com/thinkcampus/article-100423/ NII講演と第一回国際シンポジウム紹介 https://www.youtube.com/watch?v=7uU4AB84pz4 【TOHOKU University Researcher in Focus】Vol.017 メタバースで世界をつなぐ—VR技術を活用した国際共修授業— https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2022/03/in-focusvol017.html</p>
<p>授業時間外学修 /Preparation and Review</p>	<p>・グループ発表の準備等のために授業時間外学修が必要です。授業時間外学修時間は週1～2時間程度です。 ・課題や授業の参加方法などについて質問がある場合は、メールやGoogle Meetで相談してください。 ・Students may have to prepare outside of class for the group presentations. ・I will answer questions about how to participate in assignments and classes by email, Google Meet.</p>
<p>実務・実践的授業 /Practical business ※〇は、実務・実践的授業であることを示す。 /Note: "〇" Indicates the practical business</p>	
<p>授業へのパソコン持ち込み 【必要/不要】 /Students must bring their own computers to class [Yes / No]</p>	<p>・初回からパソコンを持参してください。 ・Students should bring their laptops from the first class onward.</p>
<p>連絡先(メールアドレス等) ※Emailは@の置き換えに注意</p>	<p>masako@tohoku.ac.jp(◎を@に置き換えてください)</p>

/Contact (Email, etc.)	
 その他 /In Addition	<ul style="list-style-type: none"> ・初回の授業までに Google Classroomに登録をお願いいたします。 ・JLPTのN4レベルの日本語能力があれば参加できます。 ・この授業での「マルチメディア」とは、文字だけの「モノメディア」に対して、メタバースワールド、360度動画、動画、画像等を指します。 ・TGLポイント対象科目です。 ・理系・文系を問わずどの分野の学生も歓迎し、2年生以上の学部生や大学院生の受講も推奨します。
 更新日付 /Last Update	2024/02/04 19:50

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間に授業および授業時間外学修(予習・復習など)30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など)15～0時間です。

One-credit courses require 45 hours of study. In lecture and exercise-based classes, one credit consists of 15-30 hours of class time and 30-15 hours of preparation and review outside of class. In laboratory, practical skill classes, one credit consists of 30-45 hours of class time and 15-0 hours of preparation and review outside of class.